

南海地震対策

避難路の液状化対策を

できる時期になれば検討

問 避難カルテの更新は行っているか。

答 村越情報防災課長
避難カルテの更新については、当初に作成された避難カルテを各地区が更新を行うこととなっている。

問 町内の避難誘導灯の管理について台帳を作成して管理していけば、バッテリーが切れた時、速やかな対応ができると思うが台帳作成はできないか。

答 村越情報防災課長
現在、エクセルで管理しているが、修繕等の履歴も残すことにより色々な検討材料にもつながるので、今後はデータを精度の高いものに更新し、管理をしていく。

何らかの防災のデータを集計する必要がある場合には更新を実施するが、現在のところ、町としてのカルテ更新は予定していない。

など紹介している。避難カルテを作成したときに得た避難経路のデータで、多く人が通る経路を絞り込んで計画を立ててはどうか。

答 村越情報防災課長
どのような対策をするのかということの検討も必要であり、多額の経費等も多く見込まれるので、現在のところは他の防災対策を進め、今後、避難路等の液状化対策に着手できる時期になれば、検討したい。

必要であり、多額の経費等も多く見込まれるので、現在のところは他の防災対策を進め、今後、避難路等の液状化対策に着手できる時期になれば、検討したい。



問 避難道の液状化対策については県も重要性の実証実験や調査研究を行い避難路の液状化対策検討のための手引きを発表しており、道路の液状化から被害を軽減するための低コストでできる方法

球場施設整備

積極的に取り組むべきでは 優先順位を決めて対応する

答 土居総務課長
大規模な改修は、現状の財政面からも町単独での実施は困難な状況だ。今後は、有利な補助金や助成金事業等を模索するとともに、スポーツツーリズムを進める関係各課が情報共有し、町が

積極性を持って取り組む。
答 松本町長
財源については、ふるさと納税も含めていろんな形があると思うので、さまざまな状況を調べ、優先順位を決めて、しっかりと対応する。

問 本町スポーツツーリズムは、経済効果のみならず、町のイメージアップや地域の活性化に大きく影響しつつある。

町で唯一の施設である大方球場の整備は、もつと行政が積極的に取り組むべきではないか。

また、財源については、補助金や助成金に合わせ、ふるさと納税の活用も考えてみてはどうか。



松原に囲まれた大方球場